

稲むらの火の館が 大阪管区気象台長表彰を受賞



←津波フラッグについて説明しているところ

津波フラッグとは

…長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザインであり、津波警報等を知らせるための旗です。令和2年夏より、新しく津波警報等を知る手段として、津波フラッグが加わりました。

地震津波防災に関することなどを掲載した「やかただより」の発行や防災啓発の講演会の開催等を行った「稲むらの火講座」などの功績が認められ、稲むらの火の館が大阪管区気象台長表彰を受賞しました。

この賞は気象業務の推進等に寄与した団体などの功績に対して気象庁及び各管区気象台より贈られるもので、例年、気象記念日である6月1日に各管区気象台等において表彰されますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、6月23日（火）同館において授与式が行われ、和歌山地方気象台の石井嘉司台長より崎山館長へ感謝状と記念品が贈呈されました。

今後さらなる地震津波防災に関する普及啓発へ取り組みます。

小坂功氏が 全国土地改良功労者表彰を受賞

8月6日（木）町長室において、第61回全国土地改良功労者表彰の授与式が行われ、広、南広土地改良区理事の小坂功氏が個人表彰を受賞されました。表彰式は、本来令和2年3月26日東京都で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて中止となり、このたび町役場にて関係者立会のもと行われました。

小坂氏は長年にわたり土地改良事業の推進に尽力され、多大な貢献がありました。今回その功績が認められての受賞です。

小坂さん、このたびは誠におめでとうございます。

